The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	アンデルセンのGrantræetはモミの木ではない？ : デンマーク語動植物名称の日本語訳における誤訳のメカニズム
Author(s)	新谷, 俊裕
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2017, 22, p. 29-54
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/60742
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

アンデルセンの *Grantræet* はモミの木ではない？

― デンマーク語動植物名称の日本語訳における誤訳のメカニズム ―

新谷 俊裕

1. はじめに

> Ude i Skoven stod der sådant et nydeligt grantræ; det havde en god plads, sol kunne det få, luft var der nok af, og rundt om voksede mange større kammerater, både gran og fyr; men det lille grantræ var så iltert med at vokse; (Andersen: 210)[1] ［下線は筆者による］

上記引用はアンデルセン童話 “Grantræet”（邦訳「モミの木」）の出だしである．この 3, 4 行を読んだだけで，これは “モミ” ではなく，“トウヒ” ではないだろうかという思いをを抱く．なぜならば，この小さな grantræ の周りにはより大きな仲間がいて，それも gran だけではなく，松（fyr）までいるからである，つまりここは混交林なのである．現代デンマークでは，クリスマスツリーとしてはモミ（ædelgran）の一種であるノルドマンモミ（nordmannsgran（*Abies nordmanniana*））が一番多く用いられており，次いでデンマークのクリスマスツリーの歴史の最初から用いられてきている[2]ヨーロッパトウヒ/ドイツトウヒ（rødgran（*Picea abies*））が用いられている[3]が，両者に共通しているのは植林されている点である．モミには他の種，ヨーロッパモミ（almindelig ædelgran（*Abies alba*））やノーブルモミ（sølvgran（*Abies procera*/*Abies nobilis*））などもあるが，

---

[1] 邦訳

> 森の奥にかわいらしいモミの木が生えていました。そこはゆったりとした場所で，日当たりもよく新鮮な空気もたっぷり。あたりにはずっと背の高いモミやマツの木の仲間たちが立っていました。小さなモミの木は早く大きくなりたくてしかたがありません。（長島訳 2005b：28）
>
> 町の外の森の中に，それは可愛らしいモミの木が一本立っていました。そこはとてもよい場所で，お日様はよくあたり，空気も十分にありました。まわりには，もっと大きな仲間たちがたくさん生えていました。モミとトウヒと両方ともありました。ところが，小さなモミの木は，ただもう大きくなりたい，大きくなりたいで，じりじりしていました。（大畑 2005b：145）

[2] Brøndegaard 61, http://www.skoven-i-skolen.dk/content/juletr%C3%A6er-0

[3] http://naturstyrelsen.dk/naturoplevelser/naturen-netop-nu/jul-i-naturen/juletraesguide/ http://www.skoven-i-skolen.dk/content/juletr%C3%A6er-0

前者は庭園や公園の樹木として[4], 後者は主に切り枝として飾り付けに[5]用いられる. デンマークには元来，トウヒもモミも自生しておらず，ヨーロッパトウヒは 1730 年[6]に，ヨーロッパモミは 1765 年[7]にデンマークに導入された．クリスマスツリーとして現在一番よく用いられているノルドマンモミは 1850 年[8]にデンマークに導入された．これらは導入当初は勿論，植林されていたであろうが，現在ではヨーロッパトウヒは複数箇所において野生化している.[9] アンデルセン童話 “Grantræet” の主人公の grantræ が混交林の中で野生化していることは上記引用のほか，次の引用からもうかがえる.

> Øksen huggede dybt igennem marven, træet faldt med et suk hen ad jorden, det følte en smerte, en afmagt, det kunne slet ikke tænke på nogen lykke, det var bedrøvet ved at skilles fra hjemmet, fra den plet, hvor det var skudt frem; (Andersen: 212)[10]［下線は筆者による］

以上のことから，またアンデルセン童話 “Grantræet” が 1844 年の作品であることから，主人公はモミではなくトウヒであり，これまでの邦訳は明らかに誤訳である.[11]しかしながら,「トウヒ」と聞いて，それが樹木の名称であるとわかる日本人はどれだけいるであろうか, あまりいないのではないだろうか. その点,「モミ」は，特にクリスマスツリーとの関連で，知っている日本人は多いと思われる. しかもこの童話はクリスマスの話を扱っているのであるから，これまでの邦訳の「モミの木」は誤訳でありながら，実にふさわしい訳語であると言えよう.

同じくアンデルセン童話の『絵のない絵本』の「第一夜」に次のようなくだりがある.

---

4 https://www.planteskoler.dk/da-DK/item/%C3%86delgran__Abies_Alba__/30501_hv
5 http://naturstyrelsen.dk/naturoplevelser/naturen-netop-nu/jul-i-naturen/juletraesguide/
6 http://naturstyrelsen.dk/78487, Brøndegaard 57.
7 Brøndegaard 57-58.
8 http://www.skoven-i-skolen.dk/content/nordmannsgran-%C3%A1bies-normanni% C3% A1na
9 https://books.google.dk/books?id=nOKJAwAAQBAJ&pg=PT57&lpg=PT57&dq=r%C3%B8dgran+forvildet&source=bl&ots=P0WF-OAk3O&sig=7SEPYcQiwD3JwHqZqlsG-L1p7tU&hl=da&sa=X&ved=0ahUKEwju_aX6r__PAhVLurwKHbPkDksQ6AEIITAB#v=onepage&q=r%C3%B8dgran%20forvildet&f=false
10 邦訳
斧の刃が深く髄に食い込み，ため息をひとつもらしてモミの木は地面に倒れました。痛みをおぼえ無力感がしただけでした。幸せかどうかなどこれっぽっちも考えるひまがなく，森の中で芽を出した場所，生まれ故郷を離れるのが悲しく思われました。(長島訳 2005b：36-37)
11 筆者はこの考えを 20 年以上持ち続けてきたが，デンマークの環境・食品省下の自然庁（Natursyrelsen）がこのことを明言している HP を最近見つけた.
http://naturstyrelsen.dk/naturoplevelser/naturen-netop-nu/jul-i-naturen/juletraesguide/

> ”Sidste nat,” det er Månens egne ord, ”gled jeg gennem Indiens klare luft, jeg spejlede mig i Ganges: mine stråler søgte at trænge gennem det tætte hegn, som de gamle plataner fletter, der hvælver sig tæt, som skildpaddens skal. Da kom fra tykningen en hinduisk pige, let som gazellen, skøn som Eva; der var noget så luftigt, og dog så fyldigt fast ved Indiens datter, ... (Andersen: 469-470)[12]［下線は筆者による］

let som gazellen を川崎は「かもしかみたいに身もかるく」と訳している.[13] gazelle は「ガゼル，レイヨウ」であるが,「ガゼルのように身もかるく」や「レイヨウのように身もかるく」としたのでは，インド娘の身の軽さが目に浮かびにくい.「かもしかみたいに」とはまさに名訳と言えるであろう.

このように文学作品の邦訳においては，原典が伝えようとするイメージを，邦訳でもよりよく伝えるためには，時には，誤訳であったとしても，適切な訳語を選択する必要がある.[14] 一方，文学作品以外のものの翻訳においては，当然のことながら誤訳は避けなければならない．ましてや辞典の記述ではなおさらである．筆者はこれまでも誤訳のメカニズムを検証してきたが,[15] 本稿では, 現存するデンマーク語－日本語大辞典，古城ほか，および森田ほか[16]にみられるデンマーク語動植物名称の日本語訳の誤訳を考察し，それらの誤訳がどのようにして発生するのかというメカニズムをさらに詳しく検証する.

---

[12] 邦訳

『昨夜のこと』— これは月が話したことばである — 『ゆっくりとわたしはインドのすみきった大気のなかをすべりながら，ガンジス河のながれる水に影を落としていたのです。わたしの光がさしこもうとしていたぶあついいけがきは，からみあうすずかけの老木からできていて，ちょうど，かめのこうらのようにぽってりふくれておりました。

と，そのとき，しげみのなかからかもしかみたいに身もかるく，イヴのように美しいインドの娘がただひとり，ひょっこりすがたをあらわしました。(川崎 11)［下線は筆者による］

[13] 矢崎，大畑，山室もこの gazelle を「かもしか」と訳している.

[14] そのような意図とは関わりのない箇所における単なる誤訳は文学作品の邦訳といえども避けるべきであろう．例えば脚注 1 の大畑訳では “gran og fyr” が「モミとトウヒ」となっているが，トウヒはこの作品中の gran であり，fyr はマツ(松)であり，明らかな誤訳である．このような誤訳はアンデルセン童話の邦訳に多数みられる．そのような誤訳は本稿末の Appendix でまとめて示す.

[15] 新谷 2001，新谷 2011.

[16] 古城ほかは 1004 頁，森田ほかは 1508 頁，ともに大著である．このような大著の辞典を編纂された諸氏に敬意を表します.

2. デンマーク語動植物名称の日本語訳にみられる誤訳のメカニズム

デンマークの民話 “Sundhedstræet”[17]（邦訳「いのちの実」[18]）に次のような箇所がある．

> 弟は，先へ先へと歩いて行きました。森をぬけると，海にそって道がつづいていました。少し行くと，大きなカマスが浜にうち上げられて，あえいでいるのに会いました。（福井・湯沢：95）

後にこの魚は海底に沈んでいた指輪を取ってきてこの弟を助けるのであるが，筆者はこの箇所を見てある違和感を覚えた．カマスは熱帯・亜熱帯の魚であり，デンマークの海には生息していないのに，ということである．筆者はすぐにカマスではなく，カワカマス（gedde）を思い浮かべた．デンマークのカワカマスなら150cm にもなるので，指輪をとって来ても絵になるが，日本でよく干物として売られているカマスでは小さすぎて絵にならない．そして魚が gedde であることから，場所は海ではなく，湖であり，邦訳に 2 つの誤訳があると考えた．しかし原典を見ると，場所は海であることがわかる．

> Den lille gik nu videre; og da han kom gennem skoven, faldt hans vej langs med stranden. Der så han, at bølgerne havde kastet en stor gedde op på bredden, hvor den lå og gispede.[19]

strand という語からも海であることがわかるが，話しが進んだ箇所で「海」（hav）と明示されているからである．

gedde をカマスとした誤訳に関しては，翻訳された福井信子氏のお話では，カワカマスと訳した[20]のであるが，編集作業の段階で「川」がどこかに消えてしまったようである．「カワカマス」というのは日本人にとっては聞きなれないし，海に「川カマス」がいるのは不自然であるという理由から，編集作業をした誰かが「川」を取り去ってしまったということのようである．ちなみに gedde は淡水魚であるが，汽水域（brakvand）でも生息することができ，[21] 例えばシェラン島（Sjælland）南東部のプラストウー湾（Præstø Fjord）は gedde 釣りができる場所として有名である．プラストウー湾を含めたバルト海（Østersøen）は塩分濃度が低い汽水域

---

17 https://weirdspace.info/DanskeTekster/DanskeFolkeeventyr/Sundhedstraeet_DA.htm
18 福井・湯沢.
19 https://weirdspace.info/DanskeTekster/DanskeFolkeeventyr/Sundhedstraeet_DA.htm
20 gedde は丁英辞典では pike となっているので，そもそも「カワカマス」という訳語以外に辿り着きようがない．
21 Carl 116.

であり，シェラン島の東部，コペンハーゲンの南辺りからロラン・ファルスタ（Lolland-Falster）までの海岸近くで gedde の生息が認められる.[22] つまりこの民話のロケーションはその辺りということになる.

さて本題に戻るが，gedde を「カマス」としたのは，翻訳者のミスではなく，編集作業を担当した人が勝手に変更した結果生じた誤訳である．このような誤訳のメカニズムは非常に稀なケースであろう.

筆者は動植物名称を日本語に訳す場合には学名（ラテン語）を基準にすることを以前から唱えてきた.[23] しかし辞典によっては学名が示されていない場合があり，誤訳が生じる背景の一因となっている．そもそもなぜ誤訳が生じるのか？デンマーク語が示すモノ，日本語が示すモノを知らないことが原因である場合が多い．筆者はかつて padderok を「トクサ」と訳したことがある.[24] padderok は英語で horsetail というが，【英和大】には，トクサ(トクサ属（*Equisetum*）の植物の総称，トクサ（scouring rush），スギナ（field horsetail）など)とある．筆者はデンマークに 10 年間近く住んでいたが，スギナ，ツクシを見たことがなく，デンマークにはないと思ったので，まったく知らないトクサを選んでしまったのである．したがって，この翻訳が出た翌年デンマークで散歩している時にツクシが目に飛び込んで来た時の衝撃は大きかった．誤訳をしてしまった，ツクシと訳すべきであったと思ったものであるが，実はそれも誤訳であることがわかる．この padderok が登場するくだりは，デンマーク人作家の Klaus Rifbjerg が少年時代に学校が夏休みになってから，北ユランに住むおじさんを訪ねていった時の思い出である.[25] つまり，6 月末から 7 月末までの出来事であり，この padderok は agerpadderok の sommerskud，すなわちスギナのことである．この padderok は春なのか，夏なのか，時期がわからないと正しく訳すことができない，厄介なケースである.

主に古城ほかと森田ほかの両辞典に見られる誤訳のメカニズムを詳細に検討すると，1）不注意および勝手な解釈に起因する誤訳，2）勝手な解釈に起因する誤訳, 3）対応する英語の構成要素を別々に逐語訳した結果生じた誤訳, 4) faux amis（false friend 類形意義語）に起因する誤訳，5）デンマーク語と英語の単語がまったく同義とする誤解に起因する誤訳, 6）対応する英語の単語の一部だけを見たこ

---

22 http://fishingzealand.dk/planlaeg-din-fisketur/fisketips/brakvandsfiskeri/
23 新谷 2001，新谷 2011.
24 ハストロプ 154.
25 ハストロプ 154, Hastrup 110, Rifbjerg 87ff.

とに起因する誤訳，7）対応する英語の単語が持つ複数の意味からの誤った選択に起因する誤訳，8）英和辞典の誤りに起因する誤訳，9）デンマーク語の辞典の記述に起因する誤訳，の 9 種類のケースがあることがわかる．さらに誤訳に至ったメカニズムが不明のものもある．

2.1. 不注意および勝手な解釈に起因する誤訳

以下に不注意および勝手な解釈に起因する誤訳の例をいくつか挙げる．

akseltap（機械）車軸頭；クロスヘッドピン.[26]【古】きたのかまつか(こい科の小魚)[27]

【丁英大】にある（metaltap i træaksel）gudgeon を【英和大】で調べ，【丁英大】には動物を示す記号（*zo.*）がないにも関わらず，（機械）の gudgeon ではなく，（魚）の gudgeon の日本語訳を求めた結果の誤訳[28]

anpart 株，出資.【古】あっけしそう，ありたそう（あかざ属）

【丁英大】では anpart = andel となっており，andel[2] の意味を求めた結果の誤訳．この anpart には植物を示す記号（*bot.*）はついていない

skovløg ヒメニンニク *Allium scorodoprasum*.【古】めにんにく.【森】芽ニンニク[29]

【英和大】【ラ英和】rocambole ヒメニンニク

ヒメ- とは，「小さい」という意味でよく種名に付加される語であるが，このヒメのヒが何らかのミスで消えてしまったのではないだろうか．そしてその後，メニンニクがニンニクの芽の意味に解釈されたのではないだろうか

sperling ノルウェーコダラ *Trisopterus esmarkii*.【古】（ノルウェー）たら.

【森】キュウリウオ

【丁英大】Norway pout（*Boregadus esmarkii*）

キュウリウオの誤訳は英語の sparling ニシキュウリウオとの混同のせいであろうか

---

[26] 筆者が提案する訳語
[27] 古城ほかの示す訳語
[28] 誤訳のメカニズムの解説
[29] 森田ほかの示す訳語

2.2. 勝手な解釈に起因する誤訳

blankål 下りウナギ(銀ウナギともいう)(成熟して産卵のために海へと帰って行くウナギ).【古】しらすうなぎ(うなぎの子)
対応する英語 silver eel が【英和大】や【ラ英和】に載っていないために，勝手に想像した結果の誤訳

flueblomst ハエに似た花を持つ蘭フライ・オーキッド *Ophrys insectifera*.【古】はえとりぐさ
ハエトリグサ fluefanger *Dionaea muscipula* は食虫植物で，全く別の植物

fluefiskeri フライフィッシング(毛ばり釣り).【森】ハエ取り[30]
英語で fly-fishing というが，英和辞典を見ることもなく，勘違いをそのまま訳語とした

gråbjørn ハイイログマ *Ursus arctos horribilis*.【古】灰色の大ぐま
【丁英大】grizzly (bear).【英和大】【ラ英和】ハイイログマ
英和辞典を見ていれば誤訳するはずがないのであるが，おそらくデンマーク語の grå と bjørn をそれぞれ逐語訳した結果の誤訳であろう

havørn オジロワシ *Haliaeetus albicilla*.【古】うみわし.【森】オジロワシ
【丁英大】white-tailed eagle.【英和大】white-tailed eagle = white-tailed sea eagle オジロワシ
おそらく【丁英大】【英和大】を見ることなく，デンマーク語の hav と ørn をそれぞれ逐語訳した結果のうみわしという誤訳であろう

purre = porre リーキ(西洋ネギ，ニラネギ，ポワロネギ，ポロネギ) *Allium porrum*.【古】にら
【英和大】【ラ英和】leek リーキ，ニラネギ，セイヨウネギ
ニラネギからニラの誤訳が生じたのであろうか

---

[30] 森田ほかの示す訳語．なお，これは動植物名称ではないが，flue という語が入っているので挙げておく．

skovspurv スズメ *Passer montanus*.【古】欧州すずめ(北米のひわの１種).
【森】欧州スズメ
【丁英大】tree sparrow.【英和大】【ラ英和】スズメ.
どこから欧州スズメという訳語が出てくるのか理解できない.
【ラ英和】では，さらに「ふつうに見られるスズメ」という注記もある．この注記の意味するところは，日本でふつうに見られる雀ということであろう．一方，デンマークを含むヨーロッパなどでは，街中や人里でふつうに見られる雀は gråspurv イエスズメであり，イエスズメよりも小型の skovspurv スズメは山や森に追いやられている．なお，イエスズメは日本ではほとんど見られない.

skrubbe ニシカワガレイ(ヨーロッパヌマガレイ) *Platichthys flesus*.【古】ひらめの類.【森】ヒラメ類
skrubbe はカレイ目カレイ科の魚であるので，カレイの類とすべきである．ヒラメの類はカレイ目ヒラメ科の魚であるので，カレイの仲間とすることができるかもしれないが，カレイをヒラメの類とすることはできない.

svartbag オオカモメ *Larus marinus*.【古】せぐろかもめ
【丁英大】great black-backed gull.【英和大】オオカモメ *Larus marinus*
svartbag はノルウェー語の svartbak に由来しているが，svart 黒＋bag 背と分析した結果,「背黒かもめ」という誤訳になったのであろうか？
セグロカモメ *Larus argentatus* は sølvmåge

østersfisker 牡蠣(カキ)漁師.【森】ミヤコドリ
ミヤコドリ *Haematopus ostralegus* は strandskade．østersfisker の英訳は oyster fisher であるが,【丁英大】には 動物記号（*zo.*）の明記無し．また,【英和大】や【ラ英和】には oyster fisher の見出しなし．かわりに oyster catcher (ミヤコドリ)の見出しがあるので，勝手にそれと解釈したものと思われる

2.3. 対応する英語の構成要素を別々に逐語訳した結果生じた誤訳

jomfruhummer ヨーロッパアカザエビ *Nephrops norvegicus*.【古】ノルウェー(大)えび，ロブスター.【森】ノルウェーロブスター
対応する英語 Norway lobster は【ラ英和】にはないが,【英和大】では ＝Dublin Bay prawn とあり，ヨーロッパアカザエビの訳が示されているにもかかわらず,

Norway lobster の第一要素と第二要素を別々に逐語訳した結果「ノルウェーロブスター」になった

blåmejse シジュウカラ属のアオガラ *Parus caeruleus*.【古】青色しじゅうがら.【森】アオガラ

【丁英大】blue titmouse.【英和大】【ラ英和】【英和】には blue tit の見出しはあるが, blue titmouse の見出しはない. そこで blue と titmouse（シジュウカラ）をそれぞれ逐語訳した結果が「青色しじゅうがら」という誤訳となったのであろう

なお,【丁英】には bluetit とあるので, これを見ていればアオガラの正しい訳語に至ったはずであるが

grønspætte ヨーロッパアオゲラ *Picus viridis*.【古】みどりきつつき.【森】アオゲラ

【丁英大】green woodpecker.【ラ英和】アオゲラ,【英和大】ヨーロッパアオゲラとあるにもかかわらず, green と woodpecker をそれぞれ逐語訳した結果が「みどりきつつき」という誤訳となったのであろう

hellefisk カラスガレイ *Reinhardtius hippoglossoides*.【古】(グリーンランド)おひょう.【森】グリーンランドオヒョウ

【丁英大】(*zo.: Reinhardtius hippoglossoides*) Greenland halibut

Greenland halibut は【ラ英和】にはないが,【英和大】ではカラスガレイの訳が示されているにもかかわらず, Greenland と halibut オヒョウのそれぞれを逐語訳した結果が「グリーンランドオヒョウ」という誤訳

snehare ユキウサギ *Lepus timidus*.【古】やまうさぎ, アルプスうさぎ.【森】アルプスウサギ

【丁英大】mountain hare, Alpine hare

【英和大】【ラ英和】ともに mountain hare, Alpine hare の見出しがないので, 英語の合成要素をそれぞれ逐語訳した結果の「やまうさぎ」と「アスプスウサギ」の誤訳

2.4. faux amis (false friend 類形意義語）に起因する誤訳

筆者はごく近年まで，デンマークに生息するマス bækørred (*Salmo trutta fario*) ブラウントラウトを英語の brook trout (*Salvelinus fontinalis*) と同じもの, すなわちカワマスであると勘違いをしていた. デンマーク語の bæk と英語の brook が共に小川を意味するからである. しかし bækørred と brook trout は faux amis (false friend 類形意義語)であることがわかった．このセクションでは，辞書に見られる誤訳の例ではないが，faux amis ゆえに誤訳が生じる可能性がある例を示す.

デンマーク語の dobbeltbekkasin はタシギ *Gallinago gallinago* であるが，スウェーデン語やノルウェー語を知っている人はヨーロッパジシギと訳す可能性がある．というのも，ス dubbelbeckasin, ノ dobbeltbekkasin ヨーロッパジシギ (*Gallinago media*) は faux amis だから.

同様に，デンマーク語の enkeltbekkasin はコシギ *Lymnocryptes minimus* であるが，スウェーデン語やノルウェー語を知っている人はタシギと訳す可能性がある．というのも，ス enkelbeckasin, ノ enkeltbekkasin タシギ *Gallinago gallinago* は faux amis だから.

gråmåge はシロカモメ *Larus hyperboreus* であるが，ノルウェー語を知っている人はセグロカモメと訳す可能性がある．というのも，ノ gråmåke セグロカモメ *Larus argentatus* は faux amis だから.

2.5. デンマーク語と英語の単語がまったく同義とする誤解に起因する誤訳

デンマーク語と英語には語源が同じで，非常に似た語に busk - bush がある.

busk 低木(灌木).【古】低木，かん木；やぶ，しげみ.【森】やぶ，茂み，灌木

busk にやぶ，茂みの意味はない．英語の bush には「(低木が成長して集まって 1 本の木のように見える)低木の茂み」の意味があるが，この意味はデンマーク語では buskads にある[31]

[31] buskads（低木が成長して集まって 1 本の木のように見える)低木の茂み.【古】やぶ，茂み，雑木林，低木の植え込み.【森】雑木林，木立，低木の植え込み
buskads にやぶ，雑木林という意味はない

busk が合成語の第二要素となっている語にも誤訳がみられる.[32]

frugtbusk 果実のなる低木.【古】果樹園，果樹の茂み.【森】実のなる茂み

enebærbusk セイヨウネズの(低)木.【古】ねずの茂み.【森】ビャクシンの茂み

hindbærbusk ラズベリーの(低)木.【古】きいちご(えぞいちご)の茂み.【森】キイチゴの木

hyldebusk ニワトコの(低)木.【古】にわとこの茂み.【森】ニワトコの灌木

ribsbusk アカ(フサ)スグリの(低)木.【古】すぐりの茂み.【森】スグリの茂み

solbærbusk クロ(フサ)スグリ(カシス)の(低)木.【古】黒すぐりの茂み

stikkelsbærbusk セイヨウスグリ(グズベリー)の(低)木.【古】グズベリーの茂み

tjørnebusk サンザシの(低)木.【古】さんざしのやぶ・しげみ.【森】イバラ(の茂み)

2.6. 対応する英語の単語の一部だけを見たことに起因する誤訳

dunhammer ガマ科ガマ属 *Typha* の植物.【古】紙草，パピルス；よし，あし.【森】ガマ

紙草（ゴソウの別名）とパピルスはカヤツリグサ科．ヨシとアシはイネ科

【丁英大】reed mace ガマ．club rush ガマ.

しかし reed だけを見ると，アシ，ヨシの誤訳が生じる

erantis キバナセツブンソウ *Eranthis hyemalis*.【古】とりかぶとの 1 種.【森】キバナセツブンソウ(早春に黄色の花をつけるキンポウゲ科の花)

【丁英大】winter aconite キバナセツブンソウ

aconite だけの意味を求めると,【英和大】キンポウゲ科トリカブト属 *Aconitum* の植物の総称になる

fulgekonge キクイタダキ *Regulus regulus*.【古】みそさざい.【森】キクイタダキ

ミソサザイ *Troglodytes troglodytes* は gærdesmutte

【丁英大】goldencrested wren, goldcrest キクイタダキ

wren だけだと，ミソサザイという誤訳になる

---

[32] brombærbusk【森】ブラックベリーの木も併せて考えると,「茂み」,「灌木」,「木」のように森田ほかの busk の訳語には統一性がない．同辞典には 4 名の編者が関わっているが，全体の発音の監修以外の分担執筆の範囲が不明である．訳語の全体監修がなかったことがうかがえる.

skovstjerne ツマトリソウ *Trientalis europaea* などのツマトリソウ属の植物．【古】はこべ．【森】ハコベ

ハコベ fladstjerne はハコベ属 *Stellaria*.【丁英大】chickweed wintergreen ツマトリソウ．chickweed wintergreen の chickweed だけの意味を求めるとハコベという誤訳になる

tørstetræ セイヨウイソノキ *Rhamnus frangula*.【古】はんのきの１種．【森】ハンノキ

ハンノキ el, elletræ はカバノキ科ハンノキ属 *Alnus*

英語 alder buckthorn セイヨウイソノキの第一要素 alder だけだとハンノキ

ådselgraver シデムシ，特にモンシデムシ属 *Nicrophorus*.【古】(かぶとむしの１種)しでむし．【森】墓掘人

【丁英大】(*zo.: Nicrophorus*) sexton (*el.* burying) beetle

sexton だけに注目すると，【ラ英和】には「寺男，墓掘人」の意味しかない．しかし【英和大】には「寺男」のほかに burying beetle の意味も示されている．つまり，sexton beetle の sexton だけから，間違った訳語である「墓掘人」に辿り着いたものと思われる，【丁英大】に（*zo.*）とあるにもかかわらずである

2.7. 対応する英語の単語が持つ複数の意味からの誤った選択に起因する誤訳

artiskok チョウセンアザミ(アーティチョーク) *Cynara scolymus*.【古】きくいも，朝鮮あざみ．【森】チョウセンアザミ，アーチチョーク，キクイモ

英語の artichoke には，1. アーティチョーク，2. Jerusalem artichoke キクイモの意味があるが，デンマーク語の artiskok にはキクイモの意味はない．ちなみにキクイモ *Helianthus tuberosus* はデンマーク語では jordskok

aspic 【古】(料理の)肉や魚のジェリー：〈植〉スピカラベンダー(香油の原料にする)

英語の aspic には「スピカラベンダー」の意味もあるが，デンマーク語の aspic にはその意味はなく，(料理の)肉や魚のジェリーの意味しかない

bellis ヒナギク *Bellis perennis*.【古】ひなぎく，フランスぎく.【森】ヒナギク，デージー

英語の daisy には，1. ヒナギク *Bellis perennis*, 2. フランスギク *Leucanthemum vulgare*（旧 *Chrysanthemum leucanthemum*）の意味があるが，デンマーク語の bellis にフランスギクの意味はない

brasen コイ科アブラミス属の淡水魚ブリーム *Abramis brama*.【古】たい(の１種)，こい科の淡水魚

英語 bream には，【ラ英和】タイ科の海産魚，【英和大】タイに似た魚の意味もあるが，デンマーク語の brasen にその意味はない

havkat オオカミウオ科オオカミウオ属シロオオカミウオ *Anarhichas lupus*.【古】なまず.【森】ナマズ

【丁英大】catfish, wolffish.【英和大】catfish 1. ナマズ, 2. オオカミウオ. wolffish オオカミウオ

catfish の一つの意味のナマズだけを見た結果の誤訳

havørred シートラウト *Salmo trutta trutta*（ブラウントラウト *Salmo trutta* の降海型）.【森】アイナメ

【丁英大】sea trout.【英和大】1. 降海性のあるマス類の総称；(特に)ヨーロッパ産のブラウントラウト. 2. ニジマスに似た海産魚類の総称(weakfish，アイナメ(greenling)など)

アイナメという誤訳は sea trout の【英和大】の２の意味に起因するとしか考えられないが，なぜこのような周辺的な意味を選択したのかは理解に苦しむ

hejrenæb オランダフウロ *Erodium cicutarium*.【古】てんじくあおい属の植物テンジクアオイ属は *Pelargonium*

【丁英大】(*Erodium cicutarium*) common storks-bill

【英和大】storksbill: 1. フウロソウ科テンジクアオイ属（*Pelargonium*）の植物の総称. 2. フウロソウ科オランダフウロ属の植物の総称；(特に）オランダフウロ

【英和大】の１の意味を選択したための誤訳

hestehale オオバコ科スギナモ属 *Hippuris* に属する水生植物.【古】すぎなも，とくさ，よもぎ.【森】トクサ

トクサ *Equisetum hyemale* はトクサ科トクサ属 *Equisetum*. ヨモギはキク科ヨモギ属 *Artemisia*

【丁英大】1. horsetail, 2.（*bot.: Hippuris vulgaris*）mare's tail, 3.（*frisure*）pony-tail

【英和大】horsetail. 1. 馬の尾，2. ポニーテール，3.（植物）トクサ属（*Equisetum*）の植物の総称；トクサ，スギナなど. mare's tail. 1a. スギナモ（*Hippuris vulgaris*），1b. トクサ，1c. ヒメムカシヨモギ（horseweed）

【丁英大】の示す意味のうち，植物は 2 だけで，1 は馬の尾，3 は髪型のポニーテールを指すことは明白である．しかし，horsetail と mare's tail に共通のトクサを選択して誤訳になったのであろう．またさらに，1c のヒメムカシヨモギからヨモギという誤訳も生じたのであろう

hestehov フキ属 *Petasites* の植物.【古】ふきたんぽぽ

フキタンポポ følfod はフキタンポポ属 *Tussilago*

【丁英大】1. horse's fooh. 2.（*bot.: Petasites*）butterbur

(植物)の指示のある butterbur フキ属の意味を求めないで，単に馬のひづめの意味しかない horse's fooh の意味を求めようとしたが,【英和大】にも【ラ英和】にも horse's fooh の見出し語がなく，代わりに horsefooh の見出し語があったので，その意味を求めた結果フキタンポポという誤訳に至ったものと思われる

kærhøg タカ科チュウヒ属 *Circus* の鳥.【古】ハリヤー犬.【森】ハリヤー犬(ウサギ狩りなどに使う体の小振りな猟犬)

【英和大】対応する英語の harrier にはチュウヒ属の鳥の意味の他に，ウサギ狩り用の猟犬の意味もあるが，NDO, ODS, DDO から鳥のことは明白である．また,【森】は【古】に依拠した誤訳の可能性もある

paradistræ 1. ベンケイソウ科クラッスラ属フチベニベンケイ(カネノナルキ) *Crassula ovata*；2. (特に聖書で)その木から香を取るインドの様々な樹木，特にジンチョウゲ科ジンコウ属のジンコウ(沈香)*Aquilaria agallocha*.【古】アロエ.【森】アロエ.

アロエ *Aloe* はススキノキ科アロエ属

【丁英大】には paradistræ の訳として（*merk.*）aloe があり，そこからアロエの

訳が出てくる，しかし（*merk.*）aloe は商業上の aloe，つまり薫香料の aloe のことであり，植物のアロエのことではない

pigæble チョウセンアサガオ属 *Datura* の植物.【古】さんざしの実；ちょうせんあさがお
対応する英語 thorn apple には，さんざしの実の意味もあるが，デンマーク語 pigæble にはその意味はない

præriehund リス科プレーリードッグ属 *Cynomus* の動物.【古】マーモット.【森】マーモット
【丁英大】prairie dog, prairie marmot とあるが，prairie marmot は prairie dog のことであり，リス科マーモット属 *Marmota* のマーモットではない

ringdue カワラバト属モリバト *Columba palumbus*.【古】じゅずかけばと.【森】ジュズカケバト
ジュズカケバト skoggerdue *Streptopelia risoria* はキジバト属
【英和大】の wood pigeon 1. = ringdove にはモリバトとジュズカケバトの意味があるが，【丁英大】と NDO には *Columba palumbus* と限定されている

ryle オバシギ属 *Calidris* の鳥.【古】いそしぎの類.【森】イシシギの類
イソシギ属 *Actitis (Tringa)* はデンマーク語で klire
【丁英大】*(Tringa)* sandpiper とあり，英語の sandpiper はイソシギ属 *Actitis (Tringa)* とオバシギ属 *Calidris* の両方を意味するが，デンマーク語の ryle はオバシギ属のみを意味する

rævehale 1. スズメノテッポウ属 *Alopecurus* の植物；2. ヒユ属(アマランサス属)のヒモゲイトウ *Amaranthus caudatus*.【古】おおすずめのてっぽう.【森】オオスズメノテッポウ，エノコログサ
対応する英語の foxtail にはイネ科エノコログサ属の意味もあるが，エノコログサ grøn skærmaks はエノコログサ属 *Setaria* であり，rævehale ではない

rørhøne　grønbenet rørhøne バン *Gallinula chloropus* などバン属の鳥．【古】grønbenet rørhøne あからいちょう．【森】バン
アカライチョウ skotsk rype *Lagopus lagopus scoticus* はキジ目ライチョウ科のカラフトライチョウ dalrype *Lagopus lagopus* の亜種でイギリスに生息
対応する英語の moorhen は，1. バン *Gallinula chloropus*; 2. アカライチョウ red grouse を意味するが，デンマーク語の rørhøne にはアカライチョウの意味はない

skalle コイ科ルティルス属の魚ローチ *Rutilus rutilus*.【古】こい科の魚．【森】アカハラ(ウグイ類)
アカハラは日本のウグイ *Tribolodon hakonensis* の地方名
対応する roach は，【英和中】ローチ(アカハラ・ウグイに似たヨーロッパ産のコイ科の魚)とあり，これが誤訳の原因らしい．なお，【英和大】には(*Rutilus rutilus*)ローチと明示されている

skovdue = ringdue カワラバト属のモリバト *Columba palumbus*.【古】じゅずかけばと，野ばと．【森】野生バト(ヨーロッパ産の普通のハト)
ジュズカケバト skoggerdue *Streptopelia risoria* はキジバト属
【英和大】：wood pigeon → ringdove 1. モリバト，2. ジュズカケバト

tyttebær コケモモ *Vaccinium vitis-idaea*.【古】こけもも，つるありおどし．【森】コケモモ
tyttebær にツルアリオドシ *Mitchella undulata* の意味はない
対応する英語の cowberry には，【英和大】1. コケモモ，2. marsh cinquefoil, 3. partridgeberry ツルアリオドシの意味があるが，tyttebær はコケモモのみを意味する

2.8. 英和辞典の誤りに起因する誤訳

barbe コイ科の淡水魚バルブス属 *Barbus* の魚．【古】にごいの類
英和辞典に誤りがある：【ラ英和】barbel コイ科 *Barbus* 属のニゴイの類の総称
ニゴイ *Hemibarbus barbus* は日本の固有種であり，ニゴイの *barbus* は属名ではなく，種名である．ちなみにニゴイは Japanese barbel ではあるが

slåen スピノサスモモ *Prunus spinosa*.【古】りんぼく(の実).【森】欧州トゲスモモ【英和中】blackthorn リンボク.【英和大】blackthorn ヨーロッパ産スモモ属のリンボクの一種（*Prunus spinosa*）

リンボク *Prunus spinulosa* は異なる種であり，英和辞典に誤りがある

2.9. デンマーク語の辞典の記述に起因する誤訳

skræppe 1. スイバ(ギシギシ)属 *Rumex*；2. = tordenskræppe (=rød hestehov) セイヨウフキ *Petasites hybridus*.【古】すかんぽ；ふきたんぽ.【森】スイバ，スカンポ【丁英】*(bot.)* dock.【丁英大】(*Rumex*) dock: butbladet ～（*R. obtusifolius*）エゾノギシギシ common d., broad-leaved d.; kruset ～（*R. crispus*）ナガバギシギシ curled d.

【英和大】dock: 1. タデ科ギシギシ属 *Rumex* の各種の植物の総称；2. キク科ゴボウ属 *Arctium,* キク科フキ属 Petasites など広葉の雑草の総称

英語の dock にはキク科フキ属 *Petasites* の意味もあるが,【丁英大】を見る限りでは，その意味に辿り着くことは不可能であり，ギシギシにしか辿り着かない．この点，NDO も DDO も同様である．

ちなみに，独丁辞典を見ればフキに辿り着く可能性もある.【丁独】*(Rumex)* Ampfer スイバ属；ofte fejlagtigt for hestehov = tordenskræppe（しばしば誤ってセイヨウフキの意味で用いられる）.【丁独大】(*bot.*) Ampfer; (borgskræppe) Pestwurz フキ属(の根)

【ラ英和】にもスカンポはないので，スカンポがどの辞典に由来しているのかは不明である．そもそもスカンポはスイバ(ギシギシ)属 *Rumex* の地方名，あるいはイタドリ *Fallopia japonica* の地方名であり，そのような地方名を辞典に載せること自体が不適切であろう

hønsetarm ミミナグサ *Cerastium fontanum*.【古】はこべ

ハコベ fladstjerne あるいは fuglegræs はハコベ属 *Stellaria* で別属

【丁英大】(mouse-ear(ed)) chickweed; field chickweed

【英和大】mouse-ear chickweed ミミナグサ．field chickweed セイヨウミミナグサ．しかし chickweed だけだとハコベ．

つまり，【丁英大】が（mouse-ear(ed)）chickweed のように mouse-ear(ed) を任意であるかの如くに括弧入れて示したことが誤訳の原因となったのであり，括弧に入れるべきではなかった

vandloppe カイアシ類 Copepoda，すなわちケンミジンコ，あるいは，キクロプス属（ケンミジンコ属）*Cyclops* の動物，ケンミジンコ．【古】みじんこ
【丁英大】(*zo.: Cyclops*) copepod, water flea
copepod はカイアシ類（橈脚類），すなわちケンミジンコ．water flea はミジンコ
ミジンコ *Daphnia* はデンマーク語で dafnie であるが，デンマーク語の vandloppe にはミジンコの意味はない．【丁英大】の示す water flea が誤り

2.10. 誤訳に至ったメカニズムが不明のもの

grib タカ科クロハゲワシ属のクロハゲワシ munkegrib *Aegypius monachus*，ミミヒダハゲワシ属のミミヒダハゲワシ øregrib *Torgos tracheliotos* やコンドル科クロコンドル属のクロコンドル ravnegrib *Coragyps atratus*，ヒメコンドル属ヒメコンドル kalkungrib *Cathartes aura* など．【古】はげたか．【森】ハヤブサ
ハゲタカはハゲワシ類またはコンドル類の俗称
ハヤブサはハヤブサ目ハヤブサ科ハヤブサ属に属する鳥類
【丁英大】vulture, griffon．【英和大】【ラ英和】ハゲワシ，コンドル
ハヤブサに辿り着いた誤訳のメカニズムは不明

jagtfalk ハヤブサ科ハヤブサ属のシロハヤブサ *Falco rusticolus*．【古】おおたか．【森】オオタカ
オオタカ duehøg *Accipiter gentilis* はタカ科ハイタカ属
英語の gerfalcon = gyrfalcon からはジロハヤブサにしか至らない．オオタカに至った過程は不可解である

smelt キュウリウオ属のニシキュウリウオ *Osmerus eperlanus*．【古】わかさぎの類．【森】わかさぎ
【丁英大】sparling．【英和大】ニシキュウリウオ．【ラ英和】キュウリウオ属の魚の一種．ヨーロッパ産
ワカサギ *Hypomesus nipponensis* はキュウリウオ科ワカサギ属の魚であり，キュウリウオとは同科ではあるが，どこからワカサギの訳に至ったのか理解できない

syren ライラック *Syringa*．【古】ライラック．【森】ライラック，ニワトコ
【丁英大】lilac.【英和大】ライラック．誤訳ニワトコの出所が不明

vejbred オオバコ属 *Plantago* の植物.【古】バナナの１種.【森】オオバコ
丁英辞典を見ても，英和辞典を見ても訳語バナナの出所が不明

væverfugl ハタオリドリ科 *Ploceidae* の鳥.【古】はたおりどり：うその類
ウソ dompap はアトリ科ウソ属 *Pyrrhula*.
訳語ウソの出所が不明

3. おわりに

本稿では，2 つのデンマーク語－日本語大辞典である，古城ほかと森田ほかを中心に，デンマーク語動植物名称を邦訳する場合に生じる誤訳のメカニズムを考察した．筆者が以前から提唱しているように学名(ラテン語)を基準にして訳語を求めれば，まず誤訳に至ることはないのであるが，古城ほかは出版年が 1993 年ということで，当時はインターネットがほとんど発達しておらず，インターネットを駆使して学名を基準にして訳語を求めることができなかったために，多数の誤訳が生じたものと考えられる．一方，森田ほかは事情が少し異なる．編纂作業が 1961 年にスタートし，粗原稿の完成が 1970 年と古いとはいうものの，再調整した原稿の完成が 2005 年ということである．2005 年であればインターネットを駆使すれば，学名を基準にしてすべての動植物名称の正確な訳語を求めることができた[33]はずであるが，結果はそうなっておらず，多数の誤訳が残っている[34]，残念である．

(2016.12.21)

---

[33] 新谷(新谷 2006)はそのようにしてデンマーク，スウェーデン，ノルウェーに見られるすべての鳥類の名称の日本語訳を種レベルまで求めることができた．

[34] 多数の誤訳をそのままにしておくのはしのびないので，筆者の訂正案とともに「デンマーク語－日本語大辞典にみられるデンマーク語動植物名称の誤訳とその訂正案」を本誌本号 pp. 97-126 に掲載するとともに大阪大学外国語学部デンマーク語専攻のホームページの「辞書」のタブ（http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/ user/danish/dictionary.html）にアップロードすることにする．

Appendix

アンデルセン童話の邦訳[35]にみられる動植物名の誤訳の例

Billedbog uden billeder (469-492)[36]「絵のない絵本」【大畑訳】【川崎訳】【矢崎訳】【山室訳】[37]

eg (473)【矢崎訳：29】もみ →[38] ブナ

brombær (473)【大畑訳：21】【矢崎訳：23】【山室訳：20】キイチゴ，【川崎訳：29】くろいちご → ブラックベリー *Rubus fruticosus*

slåen (473)【大畑訳：21】りんぼく，【川崎訳：29】こけもも，【矢崎訳：23】リンボク，【山室訳：21】黒茨 → スピノサスモモ *Prunus spinosa*

リンボク *Prunus spinulosa* は異なる植物

blåbær (475)【大畑訳：27】【川崎訳：37】こけもも，【矢崎訳：29】【山室訳：26】コケモモ → ビルベリー，ブルーベリー

lychnis (475)【大畑訳：27】きんぽうげ → センノウ

åkande (475)【大畑訳：27】【川崎訳：37】すいれん，【矢崎訳：29】スイレン，【山室訳：27】睡蓮 → コウホネ：スイレン科コウホネ属 *Nuphar* の植物

hvalros (475)【川崎訳：37】海豹(あざらし) → セイウチ

stormfugl (475)【大畑訳：29】【矢崎訳：31】海つばめ，【川崎訳：41】うみつばめ，【山室訳：28】ウミツバメ → ミズナギドリ：ミズナギドリ科 *Procellariidae* の鳥

karse (476)【大畑訳：29】【山室訳：28】たがらし，【矢崎訳：31】タガラシ，【川崎訳：41】きんれんか → マメグンバイナズナ属 *Lepidium* のコショウソウ *Lepidium sativum*

タガラシは *Ranunculus sceleratus*，キンレンカは *Tropaeolum majus*

pinje (477)【川崎訳：48】まつ → カサマツ：イタリアカサマツ *Pinus pinea*

bukketjørn (479)【大畑訳：42】【川崎訳：57】さんざし，【矢崎訳：44】【山室訳：40】サンザシ → クコ *Lycium chinense*

husløg (479)【大畑訳：42】【川崎訳：57】いわれんげ，【矢崎訳：44】【山室訳：40】イワレンゲ → バンダイソウ：ベンケイソウ科バンダイソウ属 *Sempervivum*

イワレンゲはベンケイソウ科イワレンゲ属 *Orostachys*

---

35 本稿ではアンデルセン童話の一部のみを扱っている．

36 以下，アンデルセン童話のデンマーク語版は Andersen 2003 より．

37 それぞれ ＝ アンデルセン，大畑訳，アンデルセン，川崎訳，アンデルセン，矢崎訳，アンデルセン，山室訳．

38 →の左側が誤訳，右側が筆者による提案

grønkål (479)【大畑訳：42】【矢崎訳：44】【山室訳：40】キャベツ，【川崎訳：57】青いキャベツ → リョクヨウカンラン, ハゴロモカンラン, ケール *Brassica oleracea var. acephala*

hyld (479)【川崎訳：57】リラの木 → ニワトコ

tidsel (483)【大畑訳：60】【川崎訳：78】あざみ，【矢崎訳：62】【山室訳：55】アザミ → ヒレアザミ

gran (485)【川崎訳：88】うぞまつ → モミ

舞台がアルプス山脈東部のチロル地方であるからエゾマツではなくモミであろう

lotus (489)【大畑訳：84】すいれん，【山室訳：78】睡蓮 → ハス

gran (490)【大畑訳：86】【川崎訳：109】【矢崎訳：88】もみ，【山室訳：80】モミ → トウヒ

舞台がスウェーデンであるからモミではなくトウヒであろう

fyrretræ (490)【川崎訳：110】【矢崎訳：89】もみの木，【山室訳：81】槲(かしわ) → マツ

Den lille havfrue (61-77)「人魚姫」【大畑訳 a】[39]【長島訳】[40]

kornblomst (61)【大畑訳 a：119】【長島訳：4】ヤグルマソウ →ヤグルマギク

近年一部でヤグルマソウとも呼ばれた時期もあったが，ユキノシタ科のヤグルマソウと混同しないように現在ではヤグルマギクと統一されて呼ばれている

siv (68)【大畑訳 a：129】アシ → イグサ

Den lille Idas blomster (27-32)「小さいイーダの花」【大畑訳 a】

gåseurt (27)【大畑訳 a：48】ヒナギク → キク科カマエメルム属 *Chamaemelum* (*Anthemis*) のカミツレ

påskelilje (28)【大畑訳 a：50】スイセン → ラッパスイセン

klokke (31)【大畑訳 a：58】リンドウ → = klokkeblomst (キキョウ科ホタルブクロ属 *Campanula*) ホタルブクロ；ツリガネソウともいう

bellis (32)【大畑訳 a：58】サクラソウ → ヒナギク（デージー）

Den lykkelige familie (321-323)「幸福な一家」【福井・大河原訳】[41]

skræppeblad (321ff.)【福井・大河原訳：168ff.】スカンポの葉 → フキの葉

---

[39] ＝ 大畑 2005a.

[40] ＝ 長島 2005a.

[41] ＝ アナセン編，福井・大河原訳.

Grantræet (210-216)「モミの木」【長島訳】[42]
lindetræ (215)【長島訳：54】リンデンの木 → シナノキあるいは菩提樹

Hvad tidslen oplevede (923-926)「アザミの経験」【福井・大河原訳】
tidsel (923)【福井・大河原訳：155】アザミ → ヒレアザミ
bremse (925)【福井・大河原訳：158】スズメバチ → ウマバエ *Gasterophilus intestinalis*
gåseurt (925)【福井・大河原訳：158】ヒナギク → キク科カマエメルム属 *Chamaemelum* (*Anthemis*) のカミツレ

Peiter, Peter og Peer (817-821)「パイターとペーターとペーア」【福井・大河原訳】
begnellike (817)【福井・大河原訳：2】ナデシコ → センノウ（ナデシコ科センノウ属の植物）
gåseurt (819)【福井・大河原訳：8】ヒナギク → キク科カマエメルム属 *Chamaemelum* (*Anthemis*) のカミツレ

Pigen, som trådte på brødet (587-595)「パンを踏んだ娘」【福井・大河原訳】
skarnbasse (587)【福井・大河原訳：54】タマオシコガネ → センチコガネ
センチコガネ科センチコガネ属 *Geotrupes*

Skrubtudsen (851-857)「ヒキガエル」【福井・大河原訳】
spiræa (852)【福井・大河原訳：18】シモツケソウ → シモツケ
シモツケソウはバラ科バラ亜科シモツケソウ属 *Filipendula*
シモツケはバラ科シモツケ亜科シモツケ属 *Spiraea*
siv (854)【福井・大河原訳：19】アシ → イグサ

Sommerfuglen (749-750)「チョウ」【福井・大河原訳】
gåseurt (749)【福井・大河原訳：234】ヒナギク → キク科カマエメルム属 *Chamaemelum* (*Anthemis*) のカミツレ
pinselilje (749)【福井・大河原訳：236】スイセン → クチベニスイセン *Narcissus poeticus*
lindeblomst (749)【福井・大河原訳：236】ライムの花 → シナノキ（ボダイジュ）の花

---

[42] ＝ 長島 2005b.

Tommelise (33-41)「親指姫」【大畑訳 a】
siv (34)【大畑訳 a：64】アシ → イグサ
skræppeblad (36)【大畑訳 a：68】スカンポの葉 → フキの葉
skræppeblad (36) 【大畑訳 a：68】クローヴァの葉 → フキの葉

Mekanismer bag fejl ved oversættelse af danske dyre- og plantenavne til japansk

Resumé

Toshihiro Shintani

I denne artikel har jeg især kigget på de to eksisterende store dansk-japanske ordbøger, redigeret hhv. af Kojo & Matsushita og af Morita, Fukui, Iemura & Shimomiya, for at finde årsager til fejloversættelser af danske dyre- og plantenavne. Jeg påviser følgende ni årsager:

1) manglende opmærksomhed
2) egen fortolkning uden konsultering
3) uafhængig oversættelse af hver del af tilsvarende engelske ord, komposita
4) falske venner
5) falsk forudsætning af at det danske ord og det tilsvarende engelske ord betyder præcis det samme
6) oversættelse af kun en del af det tilsvarende engelske ord, komposita
7) forkert valg blandt tilsvarende engelske ords betydninger
8) Fejlbeskrivelse i engelsk-japanske ordbøger
9) Fejlbeskrivelse i dansk-engelske ordbøger

Hertil kommer for mig uforklarlige tilfælde.

参 考 文 献

Brøndegaard, V.J. 1987. *Folk og Flora 1. Dansk etnobotanik*. København: Rosenkilde og Bagger.

岡澤憲芙・村井誠人編著．2007.『北欧世界のことばと文化』．東京：成文堂.

新谷俊裕．2001.「デンマーク語（スウェーデン語・ノルウェー語）の海水魚類名称の日本語訳 ― いわゆる“マイナー”言語の辞書作りの困難；英和辞典，独和辞典と比較しながら ―」.『大阪外国語大学論集』第 24 号，pp. 151- 184. 大阪外国語大学.

新谷俊裕編．2006.『北欧語鳥類名称和名辞典．― デンマーク語 ― ―ノルウェー語（Bokmål）― ― スウェーデン語 ―. IDUN ― 北欧研究 ― 別冊 1 号』. 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室．（= http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/danish/ dictionary1.html）

新谷俊裕．2011.「デンマーク語辞典編纂にインターネットを活用する．付録：改訂「デンマーク語（スウェーデン語・ノルウェー語）の海水魚類名称の日本語訳」」，本誌 19 号，pp. 89-122.

百瀬宏・村井誠人監修．1996.『世界の歴史と文化　北欧』．東京：新潮社.

辞 書

Axelsen, Jens. 1995. *Dansk-engelsk ordbog*. 10. udg. (Gyldendals røde ordbøger). København: Gyldendal.［【丁英】と略す］

Becker-Christensen, Christian & Peter Widell (red.). 1995. *Politikens Nudansk Ordbog & Sprogbrugsleksikon.* 15. udg. København: Politikens Forlag.［NDO と略す］

Bergstrøm-Nielsen, Henrik, Henrik Lange & Henry Verner Larsen. 1991. *Dansk-tysk ordbog*. (Munksgaards store ordbøger). København: Munksgaard.［【丁独大】と略す］

Bork, Egon. 1989 (1987). *Dansk-tysk ordbog*. 9. udg. 3. opl. (Gyldendals røde ordbøger). København: Gyldendal.［【丁独】と略す］

Carl, Henrik. 2003. *Gads håndbog om fisk*. København: Gads Forlag.

Det Danske Sprog- og Litteraturselskab. 2003-2005. *Den Danske Ordbog.* København: Gyldendal.［DDO と略す］

Det Danske Sprog- og Litteraturselskab. 1975 (1919-1956). *Ordbog over det danske*

Sprog. København: Gyldendal.［ODS と略す］

Vinterberg, Hermann & C. A. Bodelsen. 1990 (1966). *Dansk-engelsk ordbog*. 3. udg. ved Viggo Hjørnager Pedersen. (Gyldendals store ordbøger). København: Gyldendal.［【丁英大】と略す］

小稲義男ほか編．1985.『新英和中辞典』．第５版．東京：研究社．［【英和中】と略す］

古城健志・松下正三編著．1993.『デンマーク語辞典』．東京：大学書林．［【古】と略す］

小学館ランダムハウス英和大辞典第２版編集委員会編．1994.『小学館 ランダムハウス英和大辞典』．第２版．東京：小学館．［【ラ英和】と略す］

竹林滋ほか編．2002.『新英和大辞典』．第６版．東京：研究社．［【英和大】と略す］

森田貞雄・福井信子・家村睦夫・下宮忠雄．2011.『現代デンマーク辞典』．大学書林．［【森】と略す］

テキスト

Andersen, H. C. 2003. *Samlede Evnetyrer og Historier. Med forord af Hendes Kongelige Højhed Prinsesse Alexandra*. Jubilæumsudgaven. 3. udg. København: HØST & SØN.

Hastrup, Kirsten (red.). 1992. *Den nordiske verden 1*. København: Gyldendal.

Rifbjerg, Klaus. 1985. “Vejen til Kandestæderne”. Sørensen, Jens Smærup. *Danske omgivelser. En topografisk antologi.* 87-96. København: Gyldendal.

アナセン，イェンス編，福井信子・大河原昌子訳．2005.『本当に読みたかったアンデルセン童話』．東京：NTT 出版．

アンデルセン，ハンス・クリスチャン作，長島要一訳．2004.『あなたの知らないアンデルセン「影」』．東京：評論社．

アンデルセン，ハンス・クリスチャン作，長島要一訳．2005a.『あなたの知らないアンデルセン「人魚姫」』．東京：評論社．

アンデルセン，ハンス・クリスチャン作，長島要一訳．2005b.『あなたの知らないアンデルセン「母親」』．東京：評論社．

アンデルセン作，大畑末吉訳．1993 (1953).『絵のない絵本』．改訂 34 版．東京：

角川書店.
アンデルセン作，川崎芳孝訳．2003 (1950).『絵のない絵本』．改訂 34 版．東京：角川書店.
アンデルセン作，矢崎源九郎訳．2001 (1952).『絵のない絵本』．東京：新潮社.
アンデルセン作，山室静訳．1986 (1966).『絵のない絵本』．東京：童心社.
大畑末吉訳．2005a (1984).『完訳 アンデルセン童話集（一）』．東京：岩波書店.
大畑末吉訳．2005b (1984).『完訳 アンデルセン童話集（二）』．東京：岩波書店.
ハストロプ, K 編，菅原邦城・新谷俊裕訳．1996．北欧社会の基層と構造 1．北欧の世界観．東京：東海大学出版会.
福井信子・湯沢朱実訳．2001．『子どもに語る 北欧の昔話』．東京：こぐま社.

インターネット上の資料

https://weirdspace.info/DanskeTekster/DanskeFolkeeventyr/Sundhedstraeet_DA.htm
http://fishingzealand.dk/planlaeg-din-fisketur/fisketips/brakvandsfiskeri/
https://www.planteskoler.dk/da-DK/item/%C3%86delgran__Abies_Alba__/30501_hv
http://www.skoven-i-skolen.dk/content/nordmannsgran-%C3%A1bies-normanni%C3%A1na
https://books.google.dk/books?id=nOKJAwAAQBAJ&pg=PT57&lpg=PT57&dq=r%C3%B8dgran+forvildet&source=bl&ots=P0WF-OAk3O&sig=7SEPYcQiwD3JwHqZqlsG-L1p7tU&hl=da&sa=X&ved=0ahUKEwju_aX6r__PAhVLurwKHbPkDksQ6AEIITAB#v=onepage&q=r%C3%B8dgran%20forvildet&f=false